

県内で活動するアルコールや薬物などの依存症の自助グループでつくる「信州アディクションセミナー実行委員会」は8日、依存症で悩む人やその家族に解決方法を紹介するセミナーを松本市Mウィングで開く。

アルコール依存症で悩んだ経験もあり、断酒会などの立ち上げを支援するなど先進的な依存症治療で知られる医師の竹内達夫さん(東京)が基調講演する。依存症の解決には、自助グループでの活動が大きな役割を果たすことなどを分かりやすく話す。

「キャンセル」「買い物」「性」「仕事」などのさまざまな依存

## 依存症 解決法見つける機会に

自助グループ 8日松本でセミナー

症の自助グループ計12団体が県内外から参加して、当事者や家族が回復した体験談を話したり、模擬活動を見せたりする。依存症の回復に役立つ情報をまとめた冊子の無料配布もある。

実行委員長の中山進さん(50) 〓松本市〓は「依存症の治療は、ほかから与えられるものではなく、自分たちで解決方法を見つけることが大切ということを知れる機会にしてほしい」とする。

午前10時～午後5時。入場無料。託児も事前申し込みで対応する(子ども1人500円)。

問い合わせは中山さん(☎090・9666・2507)へ。

◆第4回信州アディクションセミナー 8日午前10時～午後5時、松本市Mウィングで。同セミナー実行委員会主催。午前は先進的なアディクション(依存症)治療で知られる医療法人社団アパリ理事長で医師の竹内達夫さんの基調講演があり、午後はさまざまな依存症に悩む人たちの相互援助(自助)グループの体験発表や分科会を行います。参加無料。託児は要予約で託児料は子供1人500円。問い合わせは実行委員会事務局(☎090・9666・2507)へ。